

profile



田澤 明子

Akiko Tazawa

<violin>

桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科修了。在学中、第48回日本音楽コンクール第2位入賞。民音室内楽コンクール第1位、齋藤秀雄賞受賞。タングルウッド、霧島国際音楽祭等に参加し、各種の賞を受ける。1981年ヨアヒム国際コンクール(ウィーン)入賞。1982年イイノホールにてリサイタル、以来、浜離宮朝日ホール、サントリーホール、みなとみらいホール等でリサイタルを開催。小澤征爾指揮サイトウキネンオーケストラの海外公演やレコーディングに参加。ジャンルを超えた活動も積極的に行っていて、ベース、ギターとのトリオ・グループ”わらび頭”にも参加している。これまでに村山信吉、江藤俊哉の両氏に師事。

古谷 いづみ

Izumi Furutani

<violin>

3才より母古谷達子の手ほどきを受け、鈴木鎮一、加藤 潔、後に広瀬悦子、徳永二男、岩崎 淑、豊田耕児の各氏に師事。桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学卒業後渡仏。ミシェル・オークレール氏に師事し、エコール・ノルマル音楽院にて演奏家資格取得。’83年パリ国立音楽院管弦楽団員として演奏。’85年よりセルジュ・ブロン氏に師事。同年バッハ国際コンクール第1位入賞。’87年UFAM国際コンクール第2位。以来フランス、ドイツ、イギリス、日本で演奏活動を行っている。2001年1月には韓国のテジュン・シンフォニーオーケストラとコンチェルトを共演、テレビ放映された。現在、公益社団法人才能教育研究会指導者。1996年よりコンサートシリーズ夏の名曲コンサートを始め2026年7月5日ルーテル市ヶ谷センターで24回目を予定している。冬のコンサートは2005年に第1回を開始し今回21回目を迎える。

加藤 由貴夫

Yukio Kato

<viola>

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業と同時に、新日本フィルハーモニー管弦楽団にヴィオラ奏者として入団。小澤征爾、井上道義指揮、新日本フィルヨーロッパ演奏旅行に参加。退団後、メキシコ・サルバンティーノ音楽祭に、東京ゾリステンの首席ヴィオラ奏者として参加。オーケストラ《エクセルシス》と杉並公会堂にて、2012年にセシル・フォーサイス「ヴィオラ協奏曲」、2015年にミクローシュ・ロージャ「ヴィオラ協奏曲」の日本初演、ソリストを務める。ヴァイオリンを広瀬悦子、鷲見康郎、ヴィオラを兎束俊之、ライナー・モーク(元ベルリンフィルハーモニー交響楽団ソロヴィオラ奏者)の各氏に師事。現在、室内楽、ソロ、東京スカラインオーケストラ、あるて室内管弦楽団、及び様々なオーケストラの客員首席奏者など、多方面で活躍。また近年は後進の指導にも力を注いでいる。

安田 心裕

Munehiro Yasuda

<cello>

4歳よりスズキ・メソッド(才能教育研究会)で佐藤満氏のもとチェロを学び始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科(チェロ専攻)を卒業、同大学研究科を修了。学内選抜メンバーとしてインターナショナル チェロ コンgress イン 神戸 2005に出演。チェロを倉田澄子女士、堤剛氏、林峰男氏に師事。卒業後、都内のオーケストラを中心に演奏。近年、瞑想や武術への関心を深め、山形・出羽三山での山伏としての修行や、武術家 甲野善紀氏のもとで武術を主とした身体の使い方の研鑽を積みつつ、武術や修験道のカラダとココロの使い方をチェロの奏法・指導法に活かすことを研究中。甲野善紀氏より松聲館技法研究員を拝命。